

(2) 地震時の行動

地震発生

身の安全を確保！

緊急地震速報！

シェイクアウト



まず低く 頭を守り 動かない

寝ていたら



布団や枕で頭を守り、家具が倒れてこないところに身を伏せましょう。

買い物中なら



買い物カゴや鞆で頭を守り、店員の指示に従いましょう。

電車に乗っていたら



吊革や手すりにつかまり、体が放り出されないようにしましょう。

仕事・授業中なら



本棚やロッカーが倒れたり、窓ガラスが割れたりするので注意しましょう。

ビル街を歩いていたら



ガラスの破片、看板などに注意しながら近くの安全な場所に避難しましょう。

住宅地を歩いていたら



ブロック塀・門柱の転倒、ガラス・瓦の落下、切れた電線に注意しましょう。

1分~2分
火の元・家族の安全を確認

揺れがおさまったら家族で声を掛け合い、お互いの安全確認！

火の元の確認・初期消火



靴を履く(ガラスの破片などから足を守ります。)



出口を確保



非常持出品の用意を！
ガスの元栓、電気のブレーカーを切る！



5分~10分

正しい情報をつかむ
津波予報は地震発生から約3分で発表

大きな地震の後には、引き続き揺れが発生する可能性があります！

テレビ・ラジオなどで正しい情報を確認！



テレビ・ラジオ

NHKなどのデータ放送や、ラジオ各局で地域の災害情報が流れます。

防災行政無線、広報車

屋外スピーカーや広報車などで緊急情報をお知らせします。

緊急速報メール

避難勧告発令など緊急度の高い情報を、市内に存在する携帯電話(ドコモ、au、ソフトバンク)に一斉送信します。

防災ネットあかし

あらかじめ登録をした携帯電話などへ、緊急情報などの内容を配信します。

情報の入手方法は P5-6 をご覧ください

※防災ネットあかしは裏表紙をご覧ください。

10分~数時間

状況に応じて冷静に対応

家屋倒壊の危険などがあれば、避難！

隣、近所の安否確認



各町内会、自治会で安否確認を



地域ぐるみで協力し合って
救急、救護、初期消火



避難生活
または
自宅で生活

自宅での生活が
不可能な場合



避難所

避難所生活は、避難者の
方々の共同生活となります。
マナーとルールを守り、
みんなで支え合いましょ



自宅での生活が
可能な場合



自宅へ

津波

南海トラフ巨大地震発生後、
明石市に最短到達時間 115分後に
最高津波水位 2mの津波が到達する恐れ、
標高 3m以下の場所におられる方は、
地震発生後 60分までに、
「山陽電鉄よりも北へ」避難してください！

東部地区 → 人丸小学校、明石公園の高台など
(明石小学校区)
東部地区 → J R線路より北側
(明石小学校区を除く)
西部地区 → 山陽電鉄線路より北側



1 はじめに

2 風水害

3 地震・津波

1 はじめに

2 風水害

3 地震・津波